

# Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度RI会長

K.R. ラビンドラン



第2780地区  
大磯ロータリークラブ

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 河本 親秀

会長エレクト 百瀬 恵美子

幹事 大藤 勉

第2351例会

平成27年11月19日 No.19

■司会：田中 敏治

■点鐘：河本 親秀

■合唱：手に手つないで

◇プログラム ・11月26日：休会(定款適用) ・12月4日：会員増強・長期計画フォーラム、理事会

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メークアップ	修正出席率
2351回	17(15)	7	46.67%	—	—
2349回	17(15)	8	53.33%	—	—

◇欠席者(8名) 小林、宮澤、石山、原、太田井上、斎藤(正)、笹尾さん

◇メークアップ(0名)

◇ゲストスピーカー：

- ・菅原光志パストガバナー(鎌倉)
- ・斉藤友理香財団学友(ふじさわ湘南推薦)

◇ビジター：西村裕子さん(平塚)

◇おめでとうございます



誕生日祝：

田中敏治さん  
(11/23)

48歳になります。ロータリーに入って1年3ヶ月です。皆様のご指導頂きながら

しっかりと頑張っていきたいと思っております。お祝い有り難うございます。

◇田中敏治SAA：本日の食事は天井とゴマ麵です。

◇会長報告

河本親秀会長

・病人が多くて出席の悪いのが大変気になります。早く快復され出席される事を祈ります。

1. 先週の理事会報告

(1)最大課題の会員増強について12月3日の例会を1時間延長して討議したいと思います。詳しい内容はこの後新宅長期計画委員長から提案があります。

(2)12月17日の夜間例会について後ほど大藤幹事から報告があります。

2. 昨日第8グループ会長・幹事会の報告

(1)新会員の集い来年2月12-13日、箱根湯元ホテル、入会5年未満対象。地区大会に合わせての新会員の集い参加者は対象者の20%しか参加がなかった。

(2)地区財団委員会でグローバル財団奨学生3名、地区財団奨学生1名を選抜(応募者14名)

(3)地区補助金：キャンセルがあつて180万円予算が余つて新規申込み募集中=今日の菅原PDGからの情報では既に申し込みが9件300万円超あつたとの事です。

(4)ソウル国際大会：日本全国より参加目標1万人。2780地区目標600、12/15現在申込数480名。各クラブは是非補助金を出して事務局さんを誘うよう要請(ガバナーより)あり。

(5)ロータリー財団100周年プレチャリティコンサー

ト＝財団奨学生によるピアノ2台8指演奏＝が好評でした。クラブ行事で企画する時は一人5万円+交通費で派遣する。

(6)エンド・ポリオ・キャンペーン：今後も行って欲しい。

(7)ロータリー・デー：来年2月11日(木・建国記念日)にエンド・ポリオ・キャンペーン、麻薬撲滅キャンペーン、クリーンキャンペーンの何れでも良いので行って欲しい：前回まではロータリーデーの一斉キャンペーンには否定的でしたが、ガバナーが方針転換、又グループが一つになって活動する絶好の機会としてやろうという事になりました。我々は宿場まつりでエンド・ポリオ・ナウでキャンペーンをやりましたが、第8G全クラブ集合の計画が出れば協力したいと考えます。

(8)ロータリー研究会(12/3)=RI 会長ラビンドラン氏、世界の財団管理委員長の来訪のもと日本全国のDG, PDG, DGE, DGN, そしてガバナー補佐の情報交換/勉強会＝に平塚湘南RCよりフィリピンでグローバル補助金を使っての奉仕活動の報告プレゼンがあります。

(9) IM: 2月7日、サンライフ・ガーデンにて。湘南(フィリピン・シキホール島奉仕プロジェクト)、西(チェンマイの小学校の歯科検診プロジェクト)、大磯3クラブより奉仕活動報告プレゼン。大磯は3.11東日本大震災支援プロジェクトの現状報告を頼まれており、26日福島へ現況視察に行く予定。

(10)次回会長・幹事会は12月16日(水)18時、錦町のエルパテオ、忘年会を兼ねます。当日クラブ事務局さんを無料招待します。

(11)各クラブ幹事よりクラブの現況報告



#### ◇幹事報告

#### 大藤勉幹事

- 2820地区(茨城)ガバナー倉沢氏から水害支援寄付のお礼
- 12月17日(木)夜間例会/総会:18時、プリンスホテル・清水。会費:会員8千円、家族4千円。皆さん参加をお願いします。

3. ハイライトよねやま

4. 神奈川県より地球温暖化防止活動推進センターより「ストップ温暖化」のパンフレット送付。

5. 渡辺年度入会者(田中さん、野田さん)に記念品(渡辺DGの顔入りバッジ)が来ています。

6. 財団月間と財団卓話を記念して河本会長から財団に12万円(1千ドル)、米山記念奨学会に10万円の寄付がありました。

#### ◇委員会報告

#### ☆スマイルボックス

#### 百瀬恵美子さん

・菅原光志さん(鎌倉RC)

: 本日は財団のお話しをさせていただき感謝申し上げます。鎌倉RCも鎌倉プリンスで例会をしておりますがこちらの方が景色が良いですね。

・西村裕子さん(平塚RC)

: 平塚RCからまいりました。自宅、会社共に大磯にあります。なかなか伺えなくて失礼いたしております。

・河本親秀さん: 菅原パストガバナーようこそお出で下さい有難うございます。卓話楽しみしております。斎藤友里香さん卓話来訪ご苦労様です。楽しみにしております。田中さん誕生日おめでとうございます。

・新宅文雄さん: 財団斎藤友里香様卓話よろしくお願ひ致します。財団菅原パストガバナーよろしくお願ひ致します。田中さん誕生日祝おめでとうございます。

・田中敏治さん: 菅原委員長、斎藤さん、ようこそいらっしやいました。斎藤さん、卓話よろしくお願ひ致します。

・百瀬恵美子さん: 菅原パストガバナー・財団補助金委員長さんようこそ、たのしんで下さい。西村さんようこそ。田中さんお誕生日おめでとう。財団学友の斎藤友里香さんよろしく。

#### ◇新宅文雄長期計画委員長:

12月3日の例会を1時間延長して、会員増強について深く掘り下げたフォーラムを開催します。当日は皆さんの合意を得て結論を必ず出したいと思っております。一人当たり3~5分発表して頂きます。練りに練った試案を発表して頂きます。今のままでは大磯クラブは展望が開けない。





今まで何回も話し合いましたがなかなか現状打破は難しい。来年大磯クラブは創立50周年に当たります。50年を迎えるに当たって義務としても会員増強をしっかりとやらなくては……。創立当時のメンバーは24人でした。それより減っていたのでは先輩達に申し訳ない。絶好のチャンスと捉えて、是非短期決戦で成果を上げたいと皆さんにお諮りしたいと思っております。

クラブの活動が地域の皆さんにとって隔靴搔痒の感じが致します。過去の会員増強計画は総て画餅に終わった感があります。地元根付いたロータリー活動をする事が必要ではないか？一部の人だけ頑張っても駄目、全員が覚悟して推進が必要。

以下配付資料にもとづき斬新な私案を提案頂きました。

これを元に12月3日に討議します。

## ◇ 卓 話

### ◆◆◆ ロンドン大学留学で学んだ事 ◆◆◆

R財団地区奨学生：齊藤友理香さん



国際ロータリー第2780地区の地区奨学生として、2014年9月から1年間留学をしておりました齊藤友理香です。推薦クラブはふじさわ湘南ロータリークラブで、イギリスのロンドンにあるロンドン大学東洋アフリカ学院大学院に留学をしておりました。留学先では、Migration、つまり移民や難民に関する研究と、国際開発学を学びました。本日はどうぞよろしくお願いたします。

(編集者より経歴の追加：慶応義塾大学・法学部・政治学科卒業、難民支援NPOや一般企業でのインターンシップ、米国大学のサマー・スクールにて国際政治を学ぶ。趣味は乗馬と韓国語の勉強)

最近、パリでのテロを契機とし、シリアの難民の問題が日本でも話題になっていますが、みなさんは移民や難民と聞いて何を思い浮かべるのでしょうか。神奈川で生まれ育ち、外国人そのものが日常生活には馴染みのない存在だった私にとって、難民や移民はそれこそ「未知」の存在でしたし、大学に入ってから取り立てて興味のある分野では無く、大学生のころは国際政治学、特に西欧の外交を学んでいました。そんな私が大学院での専攻である移民学に興味を持ったのは、学部生のころにアメリカのヴァージニア州にあるウィリアム・アンド・メアリー大学に交換留学生として留学したことがきっかけでした。他国からの交換留学生だった一人のアジア系の学生と仲良くなったのですが、ある日偶然に彼女から、彼女のご両親が難民だったことを聞きました。難民という存在は知っていたものの、私の当時の漠然としたイメージとしては、難民といえば難民キャンプにいる人たちという非常に無知な印象を持っていました。一方で、彼女の自立した姿は、私の持っていた無知なイメージとは異なっており、「難民とは、本当はどういう人なのだろう」という疑問を持つようになりました。これが私の視野を広げる大きなきっかけとなり、それ以降は、日本に直接関連する欧米政治だけでなく、途上国での紛争や、その紛争の影響を直に受ける難民・国内避難民の存在に注目するようになり、大学院で専門的に勉強することを決意しました。

難民や移民という存在のさらなる理解と、難民・移民の受入国の政策に興味の中心があったのですが、それと同時に、国際開発学も学び、将来のキャリアに繋げることも私の目標でした。大学院に留学する前に、日本に逃れてきた難民への支援をしている難民支援協会というNPOでインターンシップをしておりましたが、そこで学んだことは、たしかに緊急援助や、難民ステータスの取得のための法的援助も重要なのですが、一方でその人たち一人ひとりが経済的に安定した、自立した生活を送るための長期的な支援も必要だということでした。また、例えば難民キャンプにおいては、時によっては10年20年の長い期間、難民キャンプの中で生活している人たちがいます。そういった人たちにとって、食料やテントの支給といった緊急援助は長くは続かないものであり、また人間はやはり自立した生活をしてこそ人間としての尊厳が保たれるという信念を私は持っていますが、そういった状況ではJICAのような開発援助機関の開発援助が重要なキーフaktorとなるのだ

と思い、私は開発学も学びたいと考えました。開発援助は難民キャンプだけでなく、避難していた人たちが故郷に帰ったときに、再び復興と自立をするうえでも重要な援助だという思いがあったので、私にとっては、緊急援助機関で働くことよりも、開発機関で働くことが目標でした。幸いにもこの目標が達成できまして、国際協力機構JICAに就職が内定し、来年4月から働く事になりました。（拍手）

私が勉強していたロンドン大学東洋アフリカ学院、通称SOASは私が希望する「難民移民の勉強と開発学」双方を学ぶ絶好のコースを提供している機関でした。ちなみに、この大学について簡単に紹介しますと、この大学は名前の通りアフリカとアジア地域を専門的に学ぶ大学として1912年に創立され、現在では大学院生の40%がアジアやアフリカ・アメリカなどのEU外の国々からの留学生という非常にグローバルな環境での勉強が出来る大学です。私のクラスメイトは基本的にはイタリアなどのEUからの留学生が多かったのですが、中にも移民二世がいたりなど、さまざまなバックグラウンドを持つ学生と交流を持つことができました。このように、欧米に偏りすぎない学生の比率がある環境というのは、途上国の研究をするうえで非常に重要なことであり、多様な視点や意見を聞き、意見交換をする日々は、自分の狭い世界で培った、ともすると偏った考えを一枚一枚はがして、新たな思考回路を構築するような感覚でした。



大学院では、難民だけではなく、移民の社会への同化や国家の政策、国際政治への影響、もしくは不法移民や人身売買についても学びましたが、地域的なフォーカスとして、私は特に東南アジアの難民や不法移民問題を取り上げて研究しました。これは、ヨーロッパ人学生がやはりヨーロッパやアフリカに注視することが多いのですが、私はアジア人の一人として、アジアの移民問題を深く学びたいという考えがあったからです。もちろん、最近特に問題となっているヨーロッパへの難民の大量流入の問題や、難民・移民の安全保障化と呼ばれる、難民を「国家

のセキュリティの問題だ」と捉える現象についても学びました。ヨーロッパ全体に溢れている難民にどのように各国が対応するか、また各国の国内に生まれる反難民の極右政党の台頭にどのように対応するか、ヨーロッパは現在、非常に混沌とした状態です。「難民受け入れ国の安全保障と、難民の人権と保護」をどのようにバランスをもって達成するかという疑問を大学院留学前に持っていたのですが、大学院での勉強を終えた現在、この疑問への正解を得ることは以前よりもより難しくなっていると感じています。とても悲観的になってしまうのですが、だからこそ、開発援助を通じて開発途上国および紛争国の人々の支援につながる仕事に全力を尽くすことが、私が出来る最善の仕事だと思っています。

このような専門分野の知識のほかに、留学を通じて得たものとして、Critical Thinking, つまり批判的思考が挙げられると思います。私は日本ではある程度物事に批判的なほうだとは思いますが、それでも大学院の学生の中では私のcritical thinkingは非常に未熟でした。私が通っていたSOASという大学は伝統的にCritical Thinkingを重要視する大学でしたし、一般の学生同士の会話でもこのような思考を求められることが多く、留学開始当初は非常に苦労しました。幸い、仲良くしていたフラットメイト（学生仲間）は優秀な人たちばかりだったので、彼らとの日常での会話からこのcritical thinkingに徐々に慣れていくことができました。SOASの他の学生に比べればまだまだ未熟なままですが、ある程度でもcritical thinkingが身についたことは、私にとっての成果だったと思います。

また、ロンドンという環境は「多様性」について私に教えてくれました。最近では日本において、労働力不足を補うための移民の受け入れという議論が出ていますが、単に移民を労働「力」として「利用」することは出来ず、その人たちが一個人としてどのように「生活」を送ることができるかが問題で、それには市民一人ひとりが多様性についての姿勢をどのように変えていくべきか、ということまで意識しなくてはならないと思います。私がお世話になり、例会にも出席させて頂いたEnfield Chase Rotary Clubは小さなクラブでしたが、移民の方もいらっしゃる、他のクラブとの合同例会にお邪魔したときは、ロータリアンの人種の多様性に驚きました。そこで一人のロータリアンの方がおっしゃっていたのが、「イギリスの地方では例会の時にアーメンと



いうけれども、ロンドンは多様性を重要視しているから、他宗教の人のためにアーメンとは絶対に言わないし、ロンドン以外のクラブもそうするべきだ」ということでした。これからますます諸外国との交流は多くなる中で、多様性は国民一人ひとりが考えなくてはならないトピックだと思います。このような流れの中で、普通の一般市民であっても、一人ひとりが宗教だけでなく、言語や習慣など、色々な側面で人種や文化・ジェンダーなどの多様性に対してよりアンテナを張らなければならないと、感じました。ちなみに、このクラブは9割が女性で、ここでもロータリーの多様な姿を見たように思います。このクラブは募金活動などに積極的で、例会だけではなく、他のクラブと合同でフィッシュアンドチップスを食べる会なども催しており、私もお招待いただきました。

最後になりますが、ロータリアンの皆さまからのご支援により、留学が出来ましたことに深く感謝申し上げます。なお、就職先も幸い決まり、開発援助機関に就職します。どのような分野に従事するかはまだわかりませんが、専門が活かせる、生涯にわたって世界の発展と平和に貢献できる職場で働けることを、非常に幸運に思っています。皆さまのご厚志を活かし、留学で学んだことを忘れずに、今後も社会に貢献するよう頑張ります。(拍手！)

**質疑応答：百瀬さんの質問に対して**

### 難民と移民

**難民：**紛争があり、その中に暴力があって、自分の国で生きて行けない。そこにいたら自分は死んでしまふとかレイプされるとか、同性愛者と言う事で逮捕されるなど逃げるほかない人達が他の国に行くこと難民となる。

本当に難民なのかはしっかり判断する必要があるが、国に帰す事は死にに行きなさいと言う事になる。

**移民：**経済移民とも言う。経済的理由=自分の国には仕事がないから。

日本は難民受け入れに消極的=政府？国民？=であると言われる。難民でも日本に来たくないと言っている人が多いと聞く。これ幸い？と言っているのか。日本が今後、長く国際社会の一員として共存して行くにはよく考える必要がある。

**ビジターの西村さん：**彼女のご主人がパークレーでMBAを取られた事。ロンドンに1996年から6年間住まわられて、英国人の移民、難民に対する考え方が保守的な感じがするがどうかの質問があり、斉藤さんと

年代間の差や時代の差はあるとの感想の交換がありました。

**菅原光志財団補助金委員長・PDGコメント：**



熱心にお話しされて、今日の例会は素晴らしい例会になり吃驚しました。彼女のロンドン

でのホストクラブは8人のロータリークラブとの事で、大磯クラブが少人数だと余り気にしないでも・・・。ロータリーはクラブが主役、クラブが好きなようにやれば良いんですから。

先ほど新宅委員長が大事な事を言うておられました。かつて逗子RCが50周年で50人にする為に10人増やす。その為に入会金は只、3ヶ月間は会費無料にする。それを実際にやって、目標の10人が入会した。3年前の事です。実際にそういう事があるので、2時間かけて討議して、大磯クラブは何が良いんだ、どうしたら楽しくて皆が例会に来るクラブに出来るか話し合ってください。

斉藤友理香さんは素晴らしい話をしてくれ、勉強に成果を上げてくれました。それは皆さんから頂いた財団資金で行く事が出来たからです。今後ともロータリー財団をお忘れなく。

又地区補助金プロジェクトの手続きが大変面倒だったので、50万円以下のプロジェクトの申し込み手続きを非常に簡素化し使いやすくしました。申し込みも12月15日でしたが、来年の3月31日を締切日にしたので時間があります。是非応募して下さい。。



斉藤友理香さんに謝礼

**菅原PDGにお土産**

